

代替材料を「使いこなす」

— 材料代替を実装につなぐテクノロジー —

資源制約、環境負荷低減、経済安全保障等の重要性の高まりにより、さまざまな産業分野で「代替材料」への関心が高まっています。新材料を実製品に採用するためには、材料の新規な機能性に加えて、精緻なメカニズム理解、プロセスの環境負荷、信頼性、コストまでを多面的に考えることが重要です。本交流会では、ナノ材料から流体・バルク材料に至るまで、代替技術にまつわる大学の先端研究と企業の現場課題を持ち寄ります。異なる分野の技術や事例を横断的に共有し、材料開発から製品実装へつながる接点・ヒントを見出すことで、新たな連携とイノベーションの創出を試みます。

2026. 7. 17 Fri.

13:30-17:15

TOKYO

- ・開催方法 対面
- ・定員 70名(定員に達し次第㊄切)
- ・場所 東京 日本橋
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 3-2-1 日本橋室町三井タワー 7 階
GLOBAL LIFESCIENCE HUB カンファレンスルーム
- ・参加費 13:30-17:15 技術交流会：無料
17:30-19:30 意見交換会：会費制(5000円/当日受付にて現金支払)
- ・対象者 産業界で研究開発に携わる方、アカデミア研究者、学生、関心のある方
- ・主催 東北大学 産学連携先端材料研究開発センター (MaSC)
- ・共催 東北大学 オープンイノベーション事業戦略機構
東北大学 研究推進・支援機構 リサーチ・マネジメントセンター

申込方法：下記よりお申込み下さい【7/14㊄】

<https://forms.gle/Gp27VsEUXnDaAPP37>



プログラム

開会挨拶 (13:30-13:35)

第 1 部 大学講演 (13:35-14:45)

- ・基調講演「サステナブルプロセスで作るはんだ・接点・実装材料 —酸化銀・銅・ナノペーストを中心に—」
東北大学大学院工学研究科 林 大和 准教授
- ・講演 1 「ナノ粒子分散液はどのように濡れ、乾き、残るのか
— 超拡張濡れの発見から、時空間計測・データ駆動解析によるプロセス理解へ —」
東北大学大学院工学研究科 庄司 衛太 准教授
- ・講演 2 「走査透過電子顕微鏡 STEM によるナノ粒子の解析」
東北大学金属材料研究所 渡辺 万三志 教授

特別講演 (14:45-15:05)

「大学発スタートアップによる冷媒代替材料の事業展開」

NanoFrontier 株式会社 研究開発部 技監 斎藤 克哉 様

~~~~ 休憩 (15 分) ~~~~

### 第 2 部 企業講演 (15:20-16:20)

- ・企業講演 1 「リレー製品における技術課題と要素技術の開発連携への期待」  
EM デバイス株式会社 開発本部 パワーリレー開発部 三津谷 怜威 様
- ・企業講演 2 「はんだの鉛フリー化対応と関連材料の動向」  
株式会社タムラ製作所 電子化学実装事業本部  
開発統括本部 / 実装開発本部 / 実装材料開発第 1 統括部 統括マネージャー 新井 正也 様
- ・企業講演 3 「銅銀合金の実用化から考える代替材料の社会実装における課題」  
SWCC 株式会社 執行役員 CTO 技術企画・知財戦略担当 森下 裕一 様
- ・企業講演 4 「空調用熱交換器のアルミ化と接合プロセスの革新」  
株式会社 UACJ マーケティング・技術本部 R&D センター  
熱製品開発部 オールアルミ熱交材料開発室 主任研究員 林 知宏 様

~~~~ 休憩 (5 分) ~~~~

第 3 部 パネルディスカッション (16:25-17:10)

「代替材料をどう“使いこなす”か — 材料開発、実装、特性評価で大学を“使いこなす” —」

閉会挨拶 (17:10-17:15)

意見交換会 (17:30-19:30) 同フロア別会場にて開催 (事前申込制・会費制・軽食&ドリンク込)



申込方法：右記よりお申込み下さい【7/14✕】
<https://forms.gle/Gp27VsEUXnDaAPP37>

